

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

II. 47

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

一九五二、一一、廿日

10 X 20

Y. YAMAGA

鈴木~~雅~~悦氏の回~~憶~~

山家

鈴木氏と私は犬歳生れの同年であるが、彼

はハック・バーで夢野記者、学幼室の室長とし

て時々くはし、私は「ネー」で水呑性とし

て「コッ」やつてゐたので、余り親しく交際する間、

村長の所へ遊びに来て、一杯様々で奇談を聞

き面白く聴いてゐた。その中で、

井上~~次郎~~氏が「ネー」に「~~自~~」を

10 X 20

Y. YAMAGA

出水、事々に排斥の勢を著せし存在、
 鈴木氏は、新橋赤十字会の中へ、日本から大
 陸日報記者として派遣されて来たのであ
 る、彼の敏感頭脳は、排斥せらるる原因と
 其對策とを、早く根本的解決を早める力抱へた。
 日本労働者は、白人労働者の組合員と同様、労働基準に準じて活動するべきである。
 日中労働者の組合員を起し、力十ダグ労働者の
 組合に連続加盟し、労働者を組織した。
 労働組合の存在が、彼の排斥の障礙となつた
 彼は、~~敵~~敵を世間的絆の寸柄である、~~彼~~彼の
 此の理想の一点が實現化せられたのである。

10 X 20

Y. YAMAGA

彼は、自らの理想達成のために、常に口
 に保身のため大衆を御し、外に外かけて実態した。
 前途の通り労働界の指導者は鈴木君の心血を
 注いだ運動で、^{自らが}自らが一つ外かけたが、^{労働界}労働界
 面の排日は漸やく頭を拾けて一九二五年頃
 を境機として其後毎年二百万年以上の母を出
 荷して取れた心で、一に労働の白人労働者は、^は、^レ
 中、心で、一に白人労働者が無組織の、^は、^レ
 出す^{労働界}労働界の労働界のために、東部市場を、^は、^レ
 中、に混乱させられるために、^は、^レ

10 X 20

政治問題化するまでに至つた、私は個人的
 に東部市場に本張中の農務省市場室長及び
 ト氏と^{電通}連絡し、同氏の帰来を待つて直接面
 談^のは、市場暴落の原因を聞き、其結果農務省
 当局の態度と激力を得て、南也つてや一兩年
 の日本農家の聯合組織運動にどうか、つた

 Y YAMAGA
 Y. YAMAGA

Y. YAMAGA

10 X 20

一九三三年前混亂
十九二十年新報、
一、總務組合が五ヶ年出荷契約を締結せられたが、
主として、
の爲め四年目には総額に若干の増減がある。其當時の
同年度の平均値は、共に鈴木武由三と
日頃の平均値は一割人出荷の出産回数を
と動議に出したところから、
農畜組合運動は、経済的効果もある、理
論と実践との間に、いかに差があるか、理論板
きに四行入るべきである。要は理論を基礎とし

10 X 20

Y. YAMAGA

実際には一箱家仙の利益を^見せる事に依つ
 てのみ、^中販売組合組織は成功するのがある
 、一方ハッキリと日女人社会は、謂所曰、赤
 合戦最中で、鈴木君が「大筆領事」と呼んで
 領事の下に^界白の天下であつた、農村の合
 長連中同包の人が居つた、私は州農務官宛
 と合会したり、^各農會代新會名をするにほ
 日会^の本據所を使ふ以外に方法がなかつた、
 日女人社会の政治問題には^各関心で、農家の
 聯合統一の目標として居た私は、^赤他か

10 X 20

Y. YAMAGA

5 足れば旧會の灯燈持ちのやうな一たが、
 新林、~~新林~~ 烈火の如く燃つたのは鈴木君
 で、一山家と力あがう者が、^{大勢} 患者組織運動を
 育てるのに毒の乳母をつけるとは余程愚か
 しい。これを意図し、山家攻撃の原形は出来て
 、^機 権を握るに成つて居るが、反有
 しあげれば深表するといひききいた、私の尊
 敬ある月先生が私に忠告に来て下さつた、私
 は東洋報が^前 述の事情を説明し、党派を超越
 せよと云ふれば患者の聯合會が出来た、式

10 X 20

Y. YAMAGA

が成立したなかつたなか、第二の加増土地法が出
 石の増徴権れがある事を説明した、先生も理解
 して帰られた、矢張り鈴木君を説伏した
 し、鈴木君の政敵原裕治道に会った。
 鈴木君の排日根本対象は在留日系社会の「
 連帯責任」を要求と認める事であった、学幼
 者は学幼界の連帯責任を、農家は全農業の連
 帯責任を、商人も亦然り。此の判り切った理
 論を、^{新報の}漢字在留同胞は容認して居た、~~田舎中~~
^{日本人社会}連帯責任は負わが、力十分人社会のそ

10 X 20

Y. YAMAGA

此を他所のやうにした生活をして死な、
 鈴木君が廿余年の間に主張した、富強 通商
 判り切った事情を、戦後の 社会生活により多くの国
 民を享受して居る、現在の在通同胞に、昨代
 かける必要がありとすれば、そこに鈴木 君の
 意識と其精神があらう性質、